



MEITETSU HOSPITAL



認定番号 JCS199号

名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

令和7年 冬号

名鉄病院 化学療法センター



撮影:写真クラブ 大原 茂幹

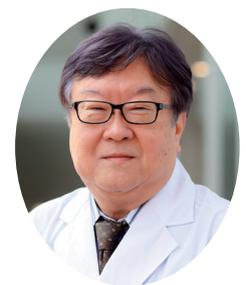
認知症カフェ『Caféミャーアオ』のご紹介

当院は名古屋市内の一般急性期病院で唯一の認知症疾患医療センターを持ち、長らく認知症患者さんの診療に携わってきています。最近ではアルツハイマー病による軽度認知症およびMCI(軽度認知障害)の方を対象とした新規治療薬のレカネバブやドナネマブを使用した治療も積極的に実施しています。

また当院では「入院患者さんを対象とした認知症サポートチーム」「介護者交流会」「家族支援プログラム」「認知症サポーター養成講座」「認知症の方への運動療法」など多数の認知症の方々やご家族をサポートする体制があります。

昨年11月に新たに、認知症カフェ『Caféミャーアオ』を開設しました。認知症のご本人やご家族、地域住民、専門職など、認知症に関心のある誰もが気楽に参加でき、認知症について学べて、専門家に相談できる交流の場として、毎月第2、3月曜日(14:00~16:00)、名鉄病院3号館前「げんきずうハウス」で元気になるイベント企画をしています。この認知症カフェにより地域の認知症の理解や認知症の方々、ご家族の方々の悩みが少しでも軽減されることを期待します。ご興味のある方は是非ご参加(来店)ください。

詳細については052-551-2802(平日9時から17時)にお問い合わせください。



名鉄病院
病院長

葛谷 雅文





名鉄病院 化学療法センター



名鉄病院 化学療法センターは、1号館の2階にあります。がんの患者さんへのがん薬物療法だけではなく、関節リウマチ、炎症性腸疾患などのバイオ医薬品による治療も行っています。1号館の建て替えの際に外来化学療法室として開設し、年間900人の利用者数は2021年に1,400人まで増えました。2024年からは“化学療法センター”に名称を変更し、今年で開設10年となります。センターに通院される患者さんの思いに寄り添い、安心して治療が受けられるように、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など多職種で連携し支援しています。

がんに対する治療薬の種類は様々であり、1人1人副作用の種類や症状は異なります。以前は、これらをコントロールするために入院での治療が必須でしたが、吐き気などの副作用に対するお薬も進歩し、多くのがん薬物治療を外来通院で行うことが可能となりました。そのため、化学療法センターでは、体調管理をご自宅で患者さん自身や家族が行えるように、その人の生活スタイルを考慮しながらケア方法などを提案しています。治療中心の生活ではなく、治療と仕事の両立など何気ない日常の時間を大事にして、治療が継続できるように往診医や訪問看護とも連携しています。



化学療法センターの薬剤師と看護師



化学療法センターは、名鉄電車の線路と同じ高さにあります。カーテンを開けると名鉄電車はもちろんのこと、新幹線やJRの在来線や貨物列車などが常に見えます。

化学療法センター センター長 中山 裕史 医師



この度、従来の化学療法室がセンター化することになり、センター長を拝命いたしました中山です。化学療法はいま、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などの新しい薬剤の出現によって大きく変わってきています。それぞれの疾患で使用できる薬剤が多岐にわたり、ガイドラインも複雑化しています。また、今後は臓器別から遺伝子ファイル別に臓器を横断した治療が行われるようになることが予測され（一部は既になっています）、他科との連携や病院としての治療の標準化が必須となっています。診療科を跨いだ議論や統一化が必須となり、センター化の必要性が高くなってきたことを強く感じています。それに加えて、治療をより効率化するために、薬剤師や看護師など多職種が連携して治療にあたる必要があります。センター化することにより、治療水準を均一化し、有害事象などを共有することで、より迅速かつ安全に多職種・多科連携が可能になると考えます。さらに、専門性の高い治療については、腫瘍内科とも連携を図りながら治療を進めています。

化学療法センターには、がん化学療法の専門的知識が豊富な専任薬剤師がいます。医師の診察前に面談を行い、抗がん薬による副作用を患者さんの話を聴きながら確認します。面談内容を医師や看護師と情報共有することで、診察や治療が円滑に行えるようにしています。

専任薬剤師による事前面談の様子



左の写真は抗がん剤の皮膚の副作用について確認しています。時には靴下も脱いでいただき、足の裏などの確認も行います。その症状に合わせた薬の提案も行っていきます。

治療を受けた患者さんの同意を得て、処方せんを依頼する調剤薬局宛に「抗がん剤治療情報提供書」を作成し、抗がん剤の治療内容の変更や副作用状況などを情報共有しています。



調剤薬局からお送りいただいたトレーシングレポートは、主治医を始めスタッフへ情報共有して、次の治療をより安心して受けて頂くよう役立てております。

栄養士の紹介する 健康によいレシピ



食材を切って入れるだけ! 白菜とたっぷりきのこのこの卵スープ

冬を代表する野菜である白菜は大部分が水分でできているので、100gあたり14kcalととても低カロリーな野菜です。ヘルシーだけでなく、ビタミンやミネラルなど栄養素を多く含みます。特に風邪予防や免疫力アップ、動脈硬化の予防に効果的なビタミンC、カルシウムの吸収を促し骨粗鬆症の予防に効果的なビタミンKが豊富です。さらに、必須ミネラルの1つであるカリウムは体の水分バランスを保ち、ナトリウムを排出して正常な血圧を保つ働きがあり高血圧予防に効果が期待できます。また、白菜は冬に不足しがちな食物繊維の供給源としても優れています。クセがなくサラダや鍋、炒め物など、どんな料理とも合わせやすい万能野菜です。体が温まる具沢山スープで取り入れてみましょう!

【材料2人分】

- 白菜……………1~2枚(100g)
 - きのこ
(しめじ、しいたけ、えのき等)……………100g
 - 長ねぎ……………1/2本(50g)
 - 卵……………1個
 - 塩……………少々
 - だし汁……………300ml
- 《調味料》
- しょうゆ……………大さじ1
 - 水……………大さじ1/2
 - 片栗粉……………小さじ1
 - 塩……………少々



【作り方】

- ①白菜は5mm幅に切る。しめじとえのきは石づきを切って、しめじはほぐし、えのきは長さを2等分にする。しいたけは薄切りにする。ねぎは斜め薄切りにする。調味料は合わせておく。
- ②鍋に白菜、長ねぎ、きのこ類、だし汁を入れたら、塩を振り入れ、ふたをして具材がやわらかくなるまで煮る。
- ③合わせ調味料を入れ、全体を混ぜる。卵を割りほぐし流し入れ、卵がふんわり浮いてきたら火を止める。
- ④器に盛り、お好みでラー油を加える。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11
URL <https://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL0570-023100 (ナビダイヤル)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- 内科
- 循環器内科
- 腎臓内科
- 消化器内科
- 呼吸器内科
- 脳神経内科
- 血液内科
- 内分泌・代謝内科
- 透視内科
- 老年内科
- 小児科
- 小児漢方内科
- 外科
- 消化器外科
- 整形外科
- リハビリテーション科
- 脳神経外科
- 婦人科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 女性泌尿器科
- 耳鼻咽喉科
- 眼科
- 形成外科
- 血管外科
- 麻酔科
- 放射線科
- 病理診断科
- リウマチ科

診療センター

- 内視鏡センター
- 認知症疾患医療センター
- 糖尿病センター
- 関節鏡・スポーツ整形外科センター
- ウロギネセンター
- 予防接種センター
- 健診センター
- 透析センター
- 中耳サージセンター
- 睡眠障害センター

専門外来 ※予約制 (一部を除く)

- 禁煙外来
- リウマチ膠原病内科
- スポーツ内科(他院から紹介のみ)
- フレイル・ロコモ外来
- ペースメーカー外来
- 肝臓外来
- シルバークリニック
- インスリン導入外来
- 糖尿病眼合併症外来
- 糖尿病透析予防外来
- フットケア外来
- 乳児健診
- 小児慢性疾患外来
- 乳腺外来
- ストーマ外来
- 関節鏡外来
- スポーツ外来
- 音声外来
- 小児整形外来(月1回・不定期)
- 女性泌尿器科外来 ほか



1号館前の名鉄病院駐車場について
平日7時~17時の利用で、来院の方は割引サービスが可能です。
1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引
認証を受けてください。
(名鉄病院北Pは割引認証しなくても、割引サービス後の料金です。)
また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療
連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL.052-586-5755 FAX.052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部総務課 TEL.052-551-6299 FAX.052-551-6711